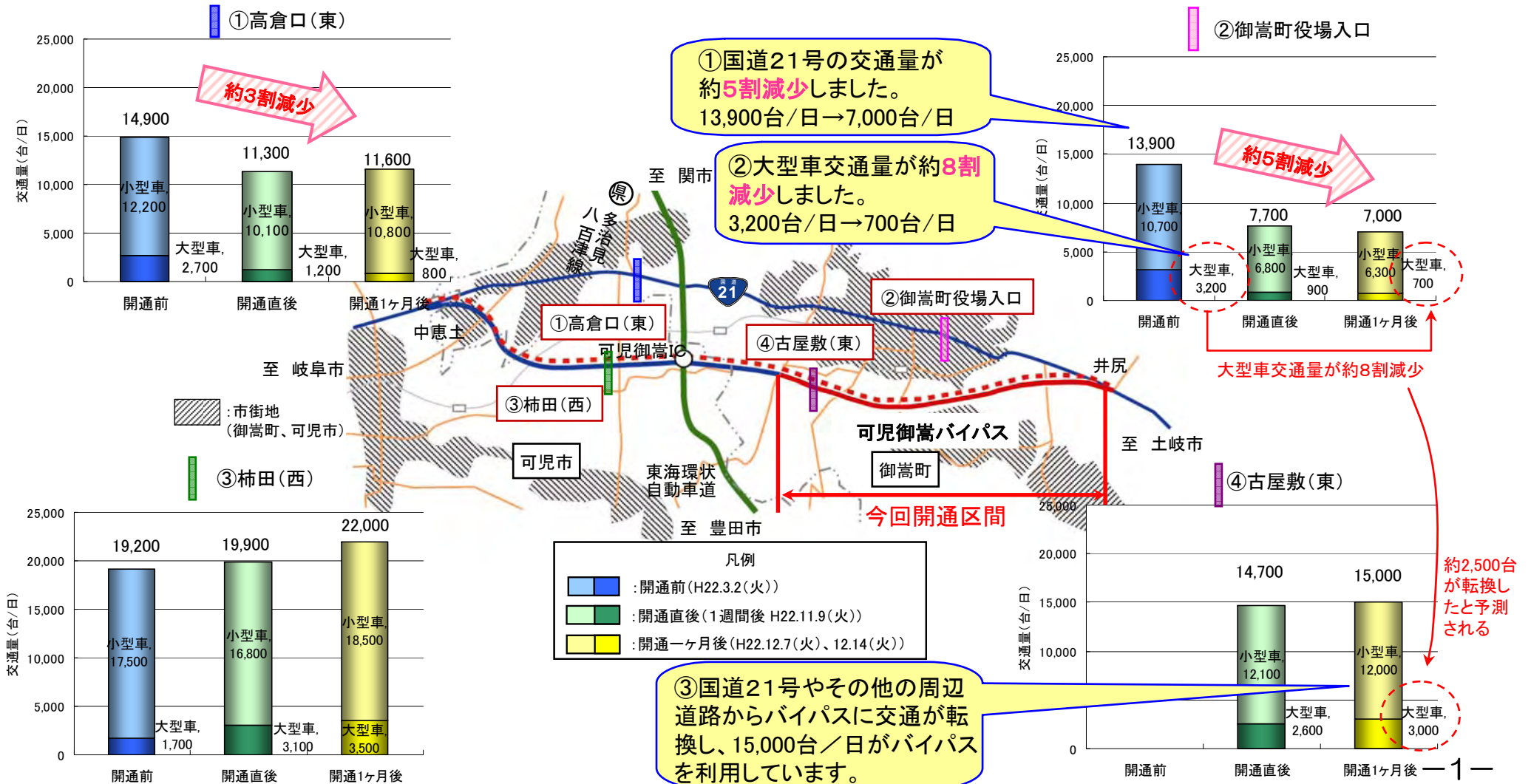


国道21号の利用交通が可児御嵩バイパス利用へ転換しました。

- ①可児御嵩バイパス開通に伴い、国道21号の利用交通が可児御嵩バイパス利用に転換し、国道21号の交通量が約5割減少しました。
- ②国道21号の大型車交通量は最大約8割減少し、大型車のバイパス利用割合が増加しました。
- ③国道21号やその他の周辺道路からバイパスに交通が転換し、約15,000台/日がバイパスを利用しています。



市街地の渋滞、夜間騒音の緩和などバイパスの整備効果が現れてきました

- ①交通渋滞の緩和: 御嵩町市街地を通過する国道21号の交通が減少し、渋滞が緩和しました。
- ②沿道環境の改善: 国道21号を通過する大型車が減少し、沿道における夜間騒音が緩和しました。
- ③安全性の向上: 国道21号を通過する大型車が減少、歩道も拡幅されたため、歩行者の安全性が向上しました。また、「安全に通行できるようになった」との声も頂きました。

①上恵土交差点の渋滞長が220m→80mに減少されました。

③国道21号の通過交通が減少し、歩道も拡幅されたため、「安全に通行できるようになった」との声を頂きました。



②上恵土交差点(夜間騒音): 64dB→57dB
(7dB減少)

②長岡交差点(夜間騒音): 69dB→62dB
(7dB減少)

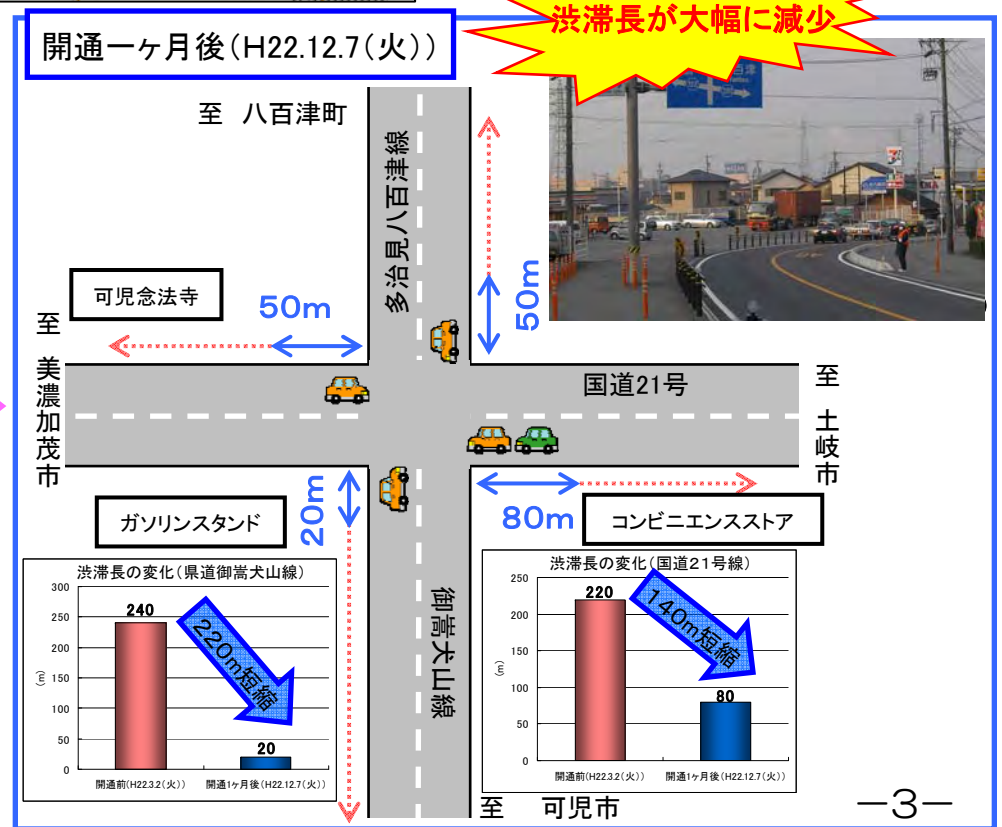
渋滞が緩和し、国道21号をスムーズに走行できるようになりました

■ **渋滞解消**: バイパス開通により国道21号の交通量が減少したため、上恵土交差点(国道21号)の渋滞長が220m→80mに減少し、**交通渋滞が緩和**しました。

● 上恵土交差点の交通渋滞の変化



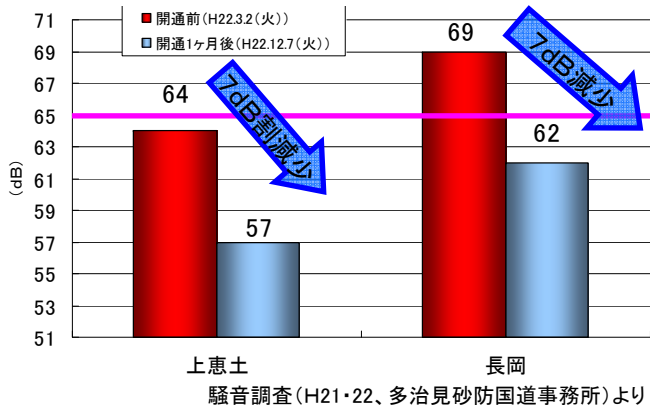
渋滞長が大幅に減少



大型車交通量が減少し、国道21号沿道が静かになりました

- **大型車交通量の減少**: 国道21号の御嵩町役場入口交差点では大型車交通量が8割減少しました。
- **沿道環境の改善**: 夜間の騒音は上恵土で64dB→57dB(7dB減)、長岡で69dB→62dB(7dB減)に緩和されました。
- **沿道の声**: 「大型車が減少したため、静かな環境で授業が行えるようになりました。」
「以前は自動車による振動を感じていましたが、交通量減少に伴い最近では振動を感じなくなりました。」

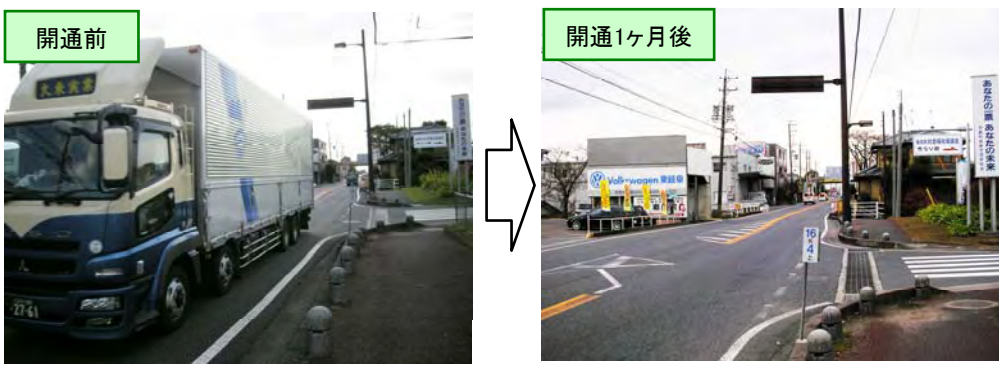
● 開通前後の夜間騒音変化 (dB)



上恵土、長岡の騒音はともに**7dB減少**しました。

環境基準 (65dB)

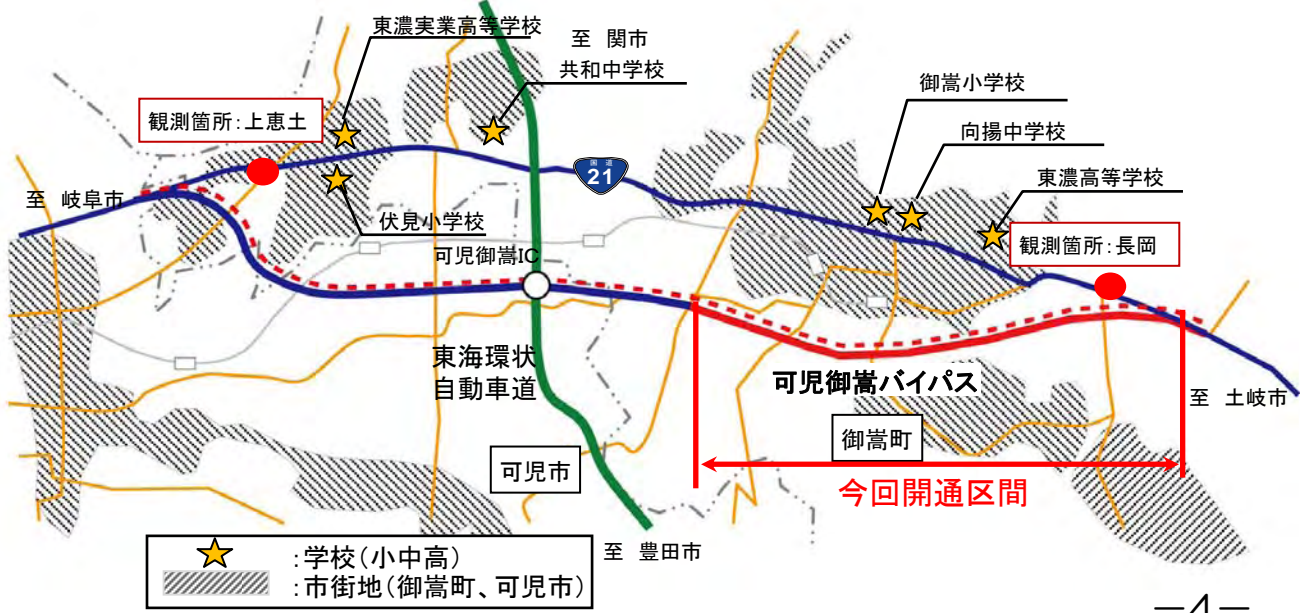
※環境基準とは、人の健康の保護及び生活環境の保全のうで維持されることが望ましい基準のこと



写真—大型車の走行が少なくなった国道21号(御嵩町御嵩)

● 国道21号沿道の声

- ・大型車が減り、静かになりましたので、窓を開けて授業を行えるようになりました。(地元学校関係者の声)
- ・以前は振動を感じていましたが、最近では感じなくなりました。(地元自治会の声)
- ・前より家の近くの道路が静かになりました。(地元中学生の声)



国道21号の大型車が減少し、子供たちや高齢者でも歩きやすくなりました

■ **歩行者・自転車の安全確保**: 通学路に指定されている高倉口の大型車交通量が約7割減少しました。

■ **沿道の声**: 「大型車の交通量が減り、雨天時でも安全に通学できるようになりました」

「脇道でも交通量が減り、子供たちや高齢者が安全に歩行できるようになりました」

● 国道21号沿道の声

- ・国道21号および脇道の交通量が減り、歩行者が安全に通行できるようになりました。(地元自治会の声)
- ・歩道が広がり、歩行者、自転車が通行しやすくなり、将来的にはシルバーカーも通行しやすくなるのが期待されます。(地元自治会の声)
- ・危険が少なくなった(地元中学生の声)



歩道の拡幅前は、雨天時は傘が自動車に引っ掛けられることがありました。(地元学校関係者の声)



バイパス供用後は、大型車が少なくなり安全に通行できるようになりました。(地元学校関係者の声)

ヒアリング調査(H22、多治見砂防国道事務所)より

